



学校だより

開く つなげる とともに

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

令和2年4月7日
横浜市立豊田小学校
4月号

豊かにかかわり、じっくり考える☆豊田っ子

～入学・進級おめでとうございます～

学 校 長

希望の令和2年（2020年度）が、スタートしました。



「朝陽が昇る校庭」



「『思いやりボックス』と一緒に」「TSCに届いた感謝状」



過去の歴史におけるかつての子どもたちの時代は、子どもを未熟にして未完な“半人前”の存在として、大人になるまでの準備期間でしかないとする時代が長く続いていました。今の時代を単なる世代の循環とみた時代です。そこでは、すべてのものが、単なる繰り返しでしかなかったのです。

しかし、今、子どもたちは、現在を越えていく無限の可能性があり、物事へのみずみずしい感受性をもった未来から来た使者たちのように見えます。

人類は今、未知の新型コロナウイルスの終息の突破口を必死に切り拓こうと闘っています。子どもたちは、そうした大人たちの世界の動向を身近に感じとり、未来に向けて、心の大地を耕し、人生の基盤をつくっています。

人類の未来をそんな子どもたちに託すために、私たち周囲が心を尽くした分、子どもたちは大きく開かれ成長できるように思います。

今回、その希望の存在である子どもたちを育む基盤づくりに長年にわたって心を砕き貢献していただいたTSC（豊田小学校サポートセンター）に、3月横浜市教育委員会から、『感謝状』が届きました。社会から切り離された教育が、生命をもたないように、“教育という使命を見失った社会”に未来はないように思います。TSCの皆様方に心から深く感謝するとともに、保護者、地域、関係諸機関等の皆様方、これまでと同様、引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力、ご支援をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

年度が変わり、職員一同、心新たに、新型コロナウイルスの拡大が懸念される中であっても、“豊田っ子”と“ともに”、希望と勇気を創り出せる学校であり続けていきたいと思えます。

さて、今日の『思いやりボックス』には、どんなお手紙が届いていることでしょうか。